

| | | | | | | | |
|---------|------------------------------------|----|----|------|------------------|-----|---|
| 学年 | 中学2年 | 教科 | 音楽 | 科目 | 音楽 | 単位数 | 2 |
| 教科書名 | 中学生の音楽2・3上（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） | | | 副教材名 | 音楽のキャンパス2（教育芸術社） | | |
| コース・クラス | 中高一貫 | | | | | | |

1. 目標

多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることで音や音楽への興味・関心を高め、積極的に音楽に親しむ態度を育てる。

2. 授業のねらい

中学2年では、1年履修内容に準じてさらに「音楽」という分野を多角的に学習する。表現能力の育成においては、音楽の持つ豊かさや美しさを感じ取り、それを技能によって表現していくことが大切。そのためには、音楽を形作っている要素等の知覚と特徴・雰囲気等から表現したい内容をイメージさせながら歌唱・器楽・創作の基本的な技能を育成、また鑑賞の能力は、その音楽の背景となる文化や歴史等の理解を踏まえ育成していく。

3. 授業の進め方

各生徒に応じた歌唱、演奏指導とテストや鑑賞により、その生徒が持つ感受性や表現力の可能性を引き出し音楽の持つ美しさやその多様性を感得させる。

4. 学習上の留意点

- (1) 教科書、キャンパス、筆記用具を必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 歌唱・器楽をする際は、きちんとした姿勢を心掛けて臨むこと。
- (3) 鑑賞の記録等はしっかり記入し、提出すること。また、正しい姿勢で鑑賞することを心掛ける。

5. 定期試験

定期試験期間では行わず、歌唱・器楽テストを授業時間中に行う。時期は、各学期の定期試験1週間前の授業内とする。また、実技試験を行えない状況の際には、授業時間中にペーパー試験を課す場合もある。

6. 評価方法

実技では歌唱テストおよび器楽テストなどを行い、鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかを確認し、評価をする。鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかということも評価の対象とする。授業態度（忘れ物を含む）平常点として、忘れ物、授業態度が適切でない者（遅刻・私語・授業に不必要な持参物等）は減点する。

7. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 | |
|-----|----|---|------------------------------|--|--|
| 一学期 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・歌唱「夢の世界を」 | 実技テスト 提出物 小テスト 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・関心、意欲、態度をもって「音楽」の授業に取り組んでいる。 | |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞「フーガト短調」 パイプオルガンについて バッハ他曲 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な感受や表現の工夫ができる。 |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽典、音楽理論 ・アルトリコーダー リコーダーの歴史、運指確認 「オーラリー」、「アニーローリー」 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の正確な発音、歌詞の内容を理解し歌えている。 |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱「夏の思い出」 ・鑑賞 イタリア歌曲、日本民謡等 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 楽曲に対し、その音色、演奏形態、形式などに関心をもって聴くことができる。 |
| 二学期 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・歌唱「サンタルチア」 ・アルトリコーダー | 実技テスト 提出物 小テスト 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・関心、意欲、態度をもって「音楽」の授業に取り組んでいる。 | |
| | 10 | <ul style="list-style-type: none"> 「われは海の子」 ・合唱の練習 ・鑑賞「アイーダ」 総合芸術について | | | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な感受や表現の工夫ができる。 ・器楽 意欲をもって実技試験に臨むことができる。 記譜通りに演奏できる。 |
| | 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー 「ラヴァーズコンチェルト」 ・歌唱「荒城の月」 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 楽曲に対し、その音色、演奏形態、形式などに関心をもって聴くことができる。 |
| | 12 | | | | |
| 三学期 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・歌唱「翼をください」 ・鑑賞 古典派音楽（音楽史） | 実技テスト 提出物 小テスト 授業態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な感受や表現の工夫ができる。 ・鑑賞 楽曲に対し、その音色、演奏形態、形式などに関心をもって聴くことができる。 | |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー「ふるさと」 ・鑑賞「ベートヴェン：交響曲第5番」 ・合唱コンクール練習 | | | |
| | 3 | | | | |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。